



平和を願う市民の集い2010

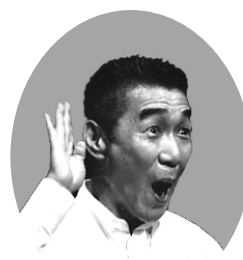
—地域から平和を創る—

「平和」を実現するために、ぜひ、一緒に考え、話し合しましょう！

日時 **2010年7月24日(土) 13時30分～16時40分**
 会場 千葉県教育会館大ホール
 参加費 **一般 500円 高校生 200円**
 主催 「平和を願う市民の集い2010」実行委員会

第1部 ● コント・パントマイム **松元ヒロ** 公演

「憲法くん」など鋭い社会・政治風刺を込めた
 コント・パントマイムでお馴染みの松元ヒロさん



撮影：橋蓮二

第2部 ● シンポジウム

基調講演 平和市長会議会長 **秋葉忠利** 広島市長

(仮題)「平和市長会議が目指すもの」



パネルディスカッション
 パネリスト

石井俊雄 長生村村長

「平和憲法にこだわり、国民
 保護条例制定を慎重に」

横山久雅子 白井市長

「平和の大切さを知る事業
 を市民とともに」

熊谷俊人 千葉市長

「海外との交流を進め若い人
 に広い視野を」

藤 和雄 佐倉市長

「核なき世界を目指して日々
 奮闘中」

秋葉忠利 広島市長 (特別参加)

コーディネーター

舘 正彦 (編集者)

● みんなでうたおう

平和市長会議とは

世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り拓こうと広島市・長崎両市長から世界各国の市長宛てに提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成された団体です。



後援：千葉市 千葉市教育委員会 佐倉市 佐倉市教育委員会 白井市 長生村 千葉市文化振興財団
 朝日新聞千葉総局 読売新聞千葉支局 東京新聞千葉支局 毎日新聞千葉支局 千葉日报社

連絡先 ... 木村忠彦 千葉市若葉区みつわ台 5-41-6 TEL：043-255-3904 E-mail：tadkimura@tbk.t-com.ne.jp

平和を願う市民の集い2010



— 地域から平和を創る —

2010年7月24日(土) 千葉県教育会館大ホール

〈プログラム〉

13:30~16:40

開会の辞

第1部 コント・パントマイム 松元ヒロ 公演
13:35~14:05

第2部 シンポジウム

基調講演 平和市長会議会長 秋葉忠利 広島市長
「核兵器のない平和な世界をめざして」
~21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代~
14:10~14:50

パネルディスカッション 14:50~15:30

各市村の取り組み 4首長

休憩 15:30~15:40

パネルディスカッション 15:40~16:30

意見交換・討論

みんなであたおう 16:30~16:40

パネリスト

石井俊雄 長生村長

熊谷俊人 千葉市長

横山久雅子 白井市長

藤 和雄 佐倉市長

[特別参加]

秋葉忠利 広島市長

コーディネーター

館正彦(編集者)

☆時間は当日多少変更があります。

主催 「平和を願う市民の集い2010」実行委員会

後援 千葉市 千葉市教育委員会 佐倉市 佐倉市教育委員会

白井市 長生村 千葉市文化振興財団

朝日新聞千葉総局 読売新聞千葉支局 東京新聞千葉支局

毎日新聞千葉支局 千葉日報社

主催者挨拶

2010年7月24日

「平和を願う市民の集い2010」実行委員会

本日は「平和を願う市民の集い2010—地域から平和を創る」にご参加下さり有難うございます。

「核兵器のない世界」、「紛争の解決に武力の行使や戦争に頼らない世界」の実現は、大多数の人々の願いであり、国際的にも大きな潮流になりつつあります。このような世界の実現には、国の政府間の話し合いだけではなく、世界中の市民の参加と力が不可欠です。世界のさまざまな分野における非政府組織の活動は、現実世界を動かしています。“地方のことは、国からの干渉を受けず、地方の住民の意思に基づいて行う”地方自治、また、住民の生活と生命の安全に直接かかわる地方自治体の役割はますます大きくなると思われまます。

本日の集いのテーマは「地域から平和を創る」であります。平和市長会議に加盟されている自治体首長から4名の首長さんをお招きし、「核兵器のない平和な世界」に向けて地方自治体が果たせるあるいは果たすべき役割は何か、何が出来るのか、これまでの各市村の取り組みを踏まえて、語って頂きます。問題意識を首長の皆さんと私たち達民とで共有できればと思います。

平和市長会議会長の秋葉忠利広島市長に基調講演「核兵器のない平和な世界を目指して」をお願いできたことは望外の喜びであります。基調講演の副題には「21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代」とあります。どんなお話を伺えるか、期待にわくわくしております。

また、鋭い社会風刺のコント・パントマイムでお馴染みの松元ヒロさんをお招きしました。「平和」を脅かす危ない空気を笑いとともに吹き飛ばしましょう。

この集いが、本日参加下さった平和を願う市民の皆様の新たな活力の源になることを願っています。また、千葉県における平和市長会議の運動の一層の発展に貢献できることを願っています。

最後に、大変お忙しい中、遠路おいで下さった秋葉忠利広島市長とパネリストを快くお引き受け下さった千葉県内の首長の皆様に心から感謝申し上げます。また、心のこもったメッセージをお寄せ下さった平和市長会議加盟の首長の皆様、そして後援して下さった自治体、教育委員会、文化振興財団、新聞各社の皆様に心からお礼申し上げます。

平和市長会議

1982年6月、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、広島市長が、世界の都市が国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り拓こうと、「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱し、広島・長崎両市長から世界各国の市長に賛同を求めました。平和市長会議は、この核兵器廃絶に向けた都市連帯に賛同する世界各国の都市で構成された団体です。

2010年7月現在、全世界で4,037都市(144カ国・地域)、日本では772都市が加盟しています。千葉県内では約6割の32市町村が加盟しています。

【コント・パントマイム】 松元ヒロさん



撮影 橘蓮二

松元ヒロさんプロフィール

- 1952年 鹿児島に生まれる。
- 1969年 鹿児島実業高校在学中、
全国高校駅伝で区間賞。
- 1975年 法政大学在学中に陸上の道から
芸の道へ。卒業後、男は黙って
パントマイマーに。その後、よくしゃ
べるマイマーとして お笑いの道へ。
- 1985年 NTV「お笑いスター誕生」で
優勝。〈笑パーティー〉
- 1988年〈ザ・ニューズペーパー〉結成に
参加。政治風刺コントの世界へ。
- 1998年〈ザ・ニューズペーパー〉を退団。
ソロ活動開始。
- 1999年 渋谷ジャンジャンにて47歳の
ソロデビュー。マイムやトーク、一人コ
ントをフューチャーした
“スタンダップ コミック”での公演
活動に入る。
- 2005年「立川談志 日本の笑芸百選」
(NHK BS2)に選ばれる。
- 2007年 TBS ラジオ「永六輔その新世界」
の『土曜ワイド芸能大賞』受賞。
- 2000年～2009年
「立川志の輔らくご」に毎月ゲスト出演。

松元ヒロさんって どんなヒト？

八方美人

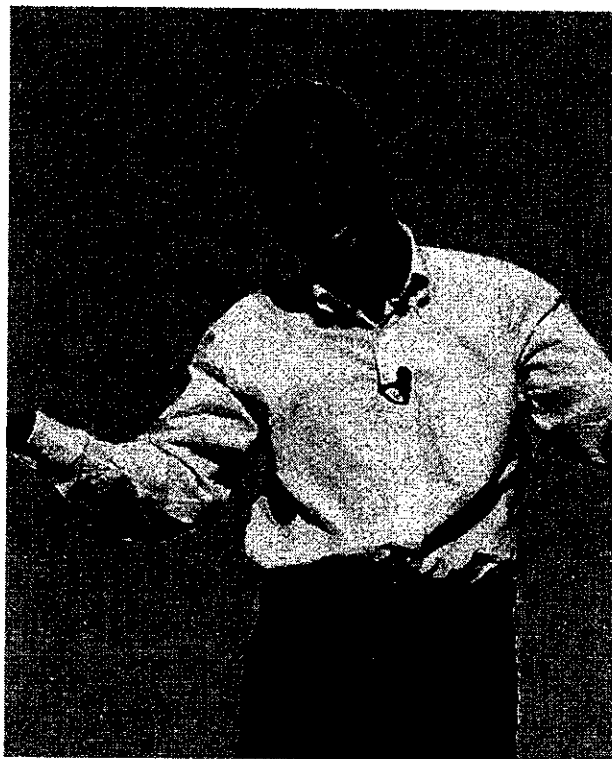
松元ヒロファンは、ヒロさんと人生をともにしている。

ヒロさんのプチ家出と息子の思い出。校則に涙で反対した友と先生の交流、狂った果実時代、栄光の陸上選手を経て教員試験不合格、一転パントマイム修行、ヘルシー松田さんのチャップリン「街の灯」、マルクス主義、太宰治、スタニスラフスキー、蟹工船、冗談音楽ユニット笑パーティー結成、歌舞音曲自肅令、ザ・ニューズペーパー立ち上げ、独り立ち、中南米幸福論…、振り返ってみれば、公私ないまぜに依って立つヒロ基準が選んだ方法は八方美人。

所属から逸脱することによって得られるフリーを、笑いを業とするヒロさんは選んだ。

こうも言える。偏らない偏りを死守し、ここに、ジャンル「松元ヒロ」が誕生。八方美人で何が悪い。

笑いのコラムニスト/木村万里



～ひとり立ち～ 中嶋 撮影

〔基調講演〕「核兵器のない平和な世界をめざして」

～21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代～

平和市長会議会長 秋葉忠利 広島市長

〈プロフィール〉



1942年(昭和17年)11月3日生

東京大学理学部数学科卒業、東京大学大学院修士課程修了

マサチューセッツ工科大学大学院博士課程(Ph.D)修了

1970年よりニューヨーク州立大学講師、その後、タフツ大学数学科

助教授、同准教授、広島修道大学人文学部客員教授兼任、同教授、

1990年より衆議院議員

1999年より広島市長、2003年・2007年再任

●著書・訳書

「コンピュータ・パワー～人工知能と人間の理性」(サイマル出版会 1979)ジョセフ・ワイゼンバウム著・秋葉忠利訳【絶版】、「顔を持ったコンピュータ～世界のコンピュータ科学者が語る未来と人間」(コンピュータ・エージ社 1984)【絶版】

「時間の三層～ビッグバンから生態学的危機まで」(蒼樹書房 1985)ハロルド・T・P・ヘイズ著・秋葉忠利、三浦賢一共訳、

「真珠と桜～「ヒロシマ」から見たアメリカの心」(朝日新聞社 1986)【絶版】

「人間の心ヒロシマの心」(三友社出版 1988)秋葉忠利編

「アメリカ人とのつきあい方」(岩波ジュニア新書 1989)【絶版】

「夜明けを待つ政治の季節にー秋葉忠利の複眼日本分析」(三省堂 1993)【絶版】

「報復ではなく和解を」(岩波書店 2004)、「元気です、広島」(海鳴社 2006)

メッセージ

核兵器廃絶や世界恒久平和の実現の願いは、広島市民、特に被爆者の願いそのものです。オバマ大統領や、今年、国連事務総長として初めて広島・長崎を訪問される潘基文氏と連帯のもと、この願いは今や世界に広がっています。

広島市は、現在、全世界の4,000を超える都市が加盟する平和市長会議を中心に、多くの方々と連携しながら、2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン」を推進しています。2020年が大切なのは、一人でも多くの被爆者と共に核兵器の廃絶される日を迎えたいからであり、また、次の世代への最低限の責任を果たしたいと考えているからです。

21世紀は、都市や市民の力で問題を解決できる時代です。皆様には、2020年までの核兵器廃絶に向け世界的な気運をさらに高めるため、私たちと共に力を尽くし、行動して下さることを心から期待いたします。

平成22年(2010年)7月24日

広島市長 秋葉忠利

[パネルディスカッション]—地域から平和を創る—

[パネリスト]

● 石井俊雄 長生村長

1950年生まれ。労働組合運動を経験し、議員となる。合併問題で「反対」で村長選に出馬し、当選。2009年、平和市長会議に加盟。

「平和憲法にこだわってきたが、これからもこだわります。」

● 熊谷俊人 千葉市長

1978年神戸市生まれ。会社勤務後、2007年千葉市議会議員となり、2009年千葉市長に就任。同年、平和市長会議に加盟。

「若い人たちが海外に出かけたり、外国人の話を聞いたりすることにより、好戦的で狭隘な考えではない、広い視野を持つことができ、平和につながっていくものと考えています。」

● 横山久雅子 白井市長

1991年～2000年 白井町会議員。2008年白井市長に就任(千葉県内初の女性市長)。2010年、平和市長会議に加盟。

「平和の大切さを知る事業を市民とともに推進しています。」

● 蕨 和雄 佐倉市長

1949年佐倉市生まれ。銀行勤務後、会社経営。2007年佐倉市長に就任。2009年、平和市長会議に加盟。

「平和宣言都市の市長として、核なき世界を目指して日々奮闘中。」

● 秋葉忠利 広島市長 (特別参加)

[コーディネーター]

○ 舘 正彦

国連 NGO 日本友和会理事・NCC在日外国人の人権委員・
市民の千葉をつくる会理事長 千葉市九条の会共同代表
平和を願う市民の集い2010実行委員会共同代表

各市・村の取り組み

長生村の平和事業

2010年7月24日
長生村長 石井俊雄

1、長生村について

- ① 面積 28.32 平方キロ、東京から特急で 1 時間、海と田園に囲まれ、人口約 15,000 人の県で一つの合併しない村です。東京、神奈川、千葉県からも、転入者が続出し人口が増え続けてきました。懇親会をしますと全国各地のお話を聞くことができ全国旅行をした気持になります。是非、ながいき村にお越しくください。昨年ごろから人口増加が止まり、安定人口となっています。一言でいうと田舎暮らしをしながら東京まで通える平らかな村です。また、ガンの予防対策にたけているということで 2007 年には全国表彰も受けています。
- ② 平成の合併騒動で議会の皆様が合併を試みましたが、住民アンケートの結果、合併しないことにしました。現在、単独自立で輝く日本一の村をめざしています。今年度より中学 3 年生までの医療費を助成し、買い物難民を救う意味で 65 才以上で車をもたない方へのタクシー利用の補助をスタートしました。また、中学校の建て替えとして全室エアコン・エレベーター付の工事着工を始めます。

2、平和事業について

- (1) 2006 年に長生村平和都市宣言を行い、役場と文化会館に宣言のステッカーを表示しました。2009 年 8 月には長崎平和市長会議参加への旅費を議会から否決され、私が自費で参加した後の 9 月に平和市長会議に加盟いたしました。「長生村平和都市宣言推進事業実施要綱」を制定し、今年度はゼロ予算となりますが、村内外から戦争時の資料や写真のご協力をいただき平和に関するパネル展を実施する予定です。
- (2) 職員採用時には地方公務員法にもとづき「宣誓書」を読み上げてもらい、一週間憲法の原文を読んでいただき感想文を提出してもらっています。新人職員からは「いままで読んだこともなかった」「憲法 9 条の大切さを知った」「公務員は全村民への公僕で働くこと」などの感想が提出されています。
- (3) 国民保護計画を 22 年 4 月に作成しました。計画作成が県内最後となった理由です。

県からの国民保護計画の素案を見ますと、テロや武力攻撃を想定した「準備と対策」となっていました。私はテロや武力攻撃を想定する前に、テロや武力攻撃を未然に防ぐことが大事だと考えます。つまり、国と国とは武力ではなく平和外交を重視すること、テロを防ぐには貧困や差別を無くすことが大切だと思っています。今回の国民保護計画を策定するにあたりまして、村民が武力攻撃を受けないようにするための国民保護計画とすることから、前文に「テロや武力攻撃を未然に防ぐためには、国と国とは武力

ではなく平和外交を重視すること、テロを防ぐには貧困や差別を無くす事が大事である。」などを書き加えました。また全国の首長との交流や勉強で時間がかかり、計画策定が遅れました。

＝ 参考資料 ＝

★ 長生村平和都市宣言 ★

戦争のない平和な社会の建設は、村民すべての願いであり、世界の人々の共通の悲願である。我が国は、世界唯一の核被爆国として、平和を希求する国民世論の同意のもとに、非核三原則を国是として、世界の恒久平和を目指している。よって、核兵器の廃絶と世界の恒久平和という悲願をこめて、ここに長生村は「平和都市」を宣言する。

平成 18 年 12 月 8 日 長生村

★ 国民保護計画前文 ★

戦後、我が国は現憲法を公布し「日本国民は、国際平和を誠実に希求し、武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と、第 9 条で明記した。本村においても平成 18 年 12 月 8 日に、核兵器の廃絶と世界の恒久平和という悲願をこめて「平和都市宣言」をし、平成 21 年 9 月 1 日には、村民一人ひとりが平和で安全な環境のもと、幸せな生活を営むことができるよう、世界各国の都市と力を合わせて、核兵器のない平和な世界の実現に取り組んでいただくことを期待し、「平和市長会議」に加盟した。

国民保護計画制定により武力攻撃に対する対策対応の計画を定め、いざとなったときのために、村民への保護計画を策定した。今後の願いは、国と国との関係は武力ではなく、平和的に外交を進めること、また、国内においては格差や貧困をなくし、テロや紛争が起こる原因の除去が大切である。よって、国民保護計画を制定すると同時に、紛争にならない社会秩序を願うものである。

本計画は、こうした外交や平和への努力が実らず、不幸にして武力攻撃や緊急対処事態等が発生したとき、長生村民の生命、身体及び財産を最大限守っていくため、国や県及び関係諸機関と連携し、村民保護のための処置を的確かつ迅速に実施することを目的として策定した。その具体化にあたっては、村民の思想・信条の自由など人権の擁護に充分留意し、また、長生村の実態にあった実行ある計画とするよう、最善の努力を払うものである。

平成 22 年 4 月 1 日 長生村

千葉市の平和啓発事業について

[人口] 総数959,486人 [世帯数] 405,549世帯 (H22.6.1 現在)

[産業別就業者数] 第1次 3,600人 第2次 82,697人 第3次 329,735人
(H17.10.1 国勢調査)

本市は、平成元年2月に「平和都市宣言」を行った。

平和都市宣言

私たちの郷土千葉市は、「ゆとりと活力ある都市づくり」を基本目標に、心のふれあう豊かで美しい地域社会の創造と健康で快適なまちづくりに懸命な努力を続けているところである。

郷土千葉市の発展と市民の幸せは、日本の安全と世界の恒久平和なくしては望み得ないものである。

よって、私たちは、核兵器などによる戦争への脅威をなくし、市民共通の願いである世界の恒久平和を求め、ここに「平和都市」を宣言する。

平成元年2月28日

千葉市

同宣言の「戦争への脅威をなくし、世界の恒久平和を求める」趣旨を後世に引き継ぐことを基本方針として、千葉空襲写真パネル展などの平和啓発事業を実施している。

また、平成21年8月に「平和市長会議」に加盟した。

平成22年度は、新たに市民から募集した折り鶴を広島及び長崎の平和祈念式典に送呈する「平和の折り鶴送呈事業」を実施するなど、平和啓発に努めている。

【平成22年度平和啓発事業】 予算額 5,256 千円

○ 千葉空襲写真パネル展

・千葉空襲(昭和20年6月10日と7月7日)の被害状況のほか、戦前戦後の市民生活、戦災復興の様子などの写真パネル等を展示する。

・7月3日(土)～8月16日(月)

・各区役所、きぼーる、本庁舎及びそごう千葉店の9会場で実施

きぼーる会場では、原爆写真パネル及び「平和の折り鶴」を併設展示する《新規》。

○ 戦跡めぐりバスツアー

・市内の戦跡をバスでめぐり、戦災体験者から体験談を聞く。(小学校5,6年生とその保護者を対象)・7月24日(土)

○ 平和について語る会

・戦災体験者の体験談や紙芝居、ビデオ上映を行う。

・7月23日(金)～8月6日(金)

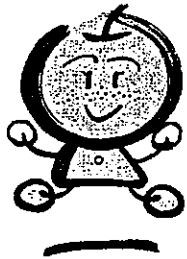
・各区コミュニティセンター6会場で実施(21年度は3区3会場で実施)《拡充》

○ 平和の折り鶴送呈事業 《H22 年度新規事業》

・平和の願いを込めた折り鶴を市民から募集し、広島及び長崎の平和祈念式典に送呈する。・募集期間 6月1日(火)～6月24日(木)

きぼーるを会場として実施する千葉空襲パネル展(7/3～15)で展示のうえ送呈する。

今後も、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため、より効果的な平和啓発事業の充実に努めていく。



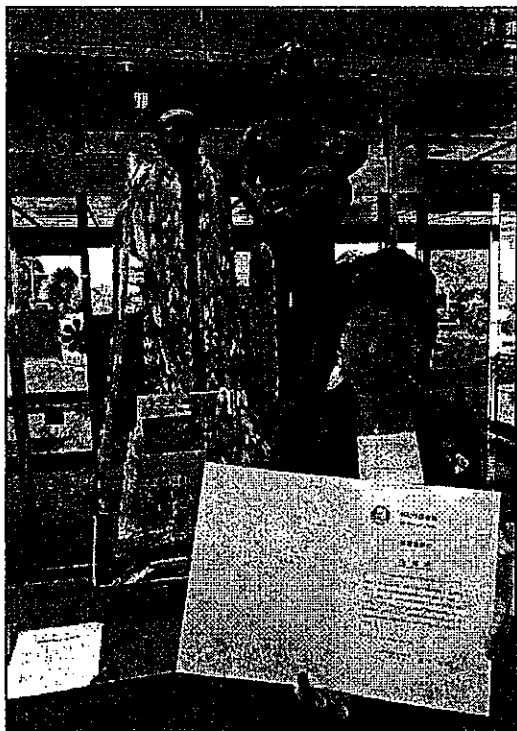
白井市のキャラクター「かおり」

しろいし 千葉県白井市

～ 市民と築く安心で健康なまち しろい ～



白井市のキャラクター「なし坊」



平和市長会議加盟認定証を持つ横山市長と平和の像

平和な社会を作ることとは自治体として必要なことであり、責務であると感じています。そのような考えを持って、私は白井市長となりました。

その志を知ってか、白井市内の平和委員会や佐倉市長から私に対し、平和市長会議への加盟の要請等があり「ぜひ参加したい。一緒に平和を訴えていきたい」と考え、平和市長会議へ加盟させていただきました。

平和に対する事業の展開は、市の事業として私のマニフェストの中にも掲げており、当初から推進することを念頭に置いていましたが、白井市単独で実施するだけではなく、平和市長会議へ加盟し、各首長さんと一緒に平和について訴えていくことを考えました。

一つの力は小さく、弱いものかもしれませんが、それが集まれば大きく、強い力になることがあります。皆さんと一緒に世界平和、核兵器廃絶を訴えていきたいと考えております。

白井市長

横山久雅子

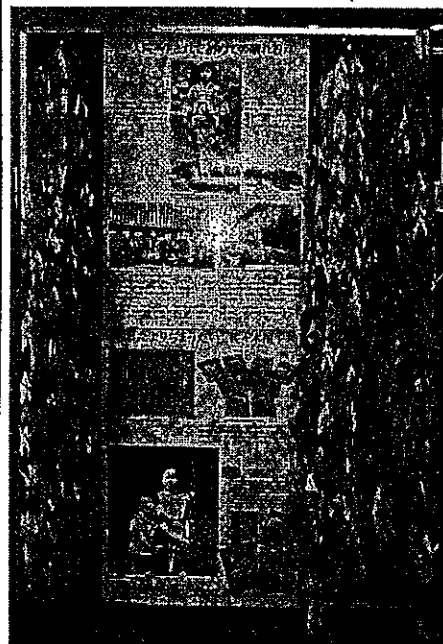
サダコと折り鶴パネル展

平和都市宣言

白い梨の花が咲く
 緑豊かな田園のまち
 青く広がる空のもと
 ふれあい笑う文化のまち
 笑顔あふれて欢声ひびき
 日々のくらしのやすらぎと
 希望に満ちたしあわせが
 全人類の大切な地球を愛するから
 かけがえのないひとびとを愛するから
 語りあおう平和の道を

私たちは生命の尊さを深く認識し核兵器の廃絶と日本のそして世界の恒久平和の実現を念願します
 白井市は市民の平和と繁栄を求める心を結集しここに「平和都市」であることを宣言します。

昭和六十二年三月十三日



白井市では平成21年度から、パネル展示と千羽鶴の作成を市民とともに進めています。昨年度は大小合わせ54,117羽の折り鶴を作成、全ての鶴を広島市の平和記念公園へ発送しました。今年度も3月ごろに実施を予定しています。

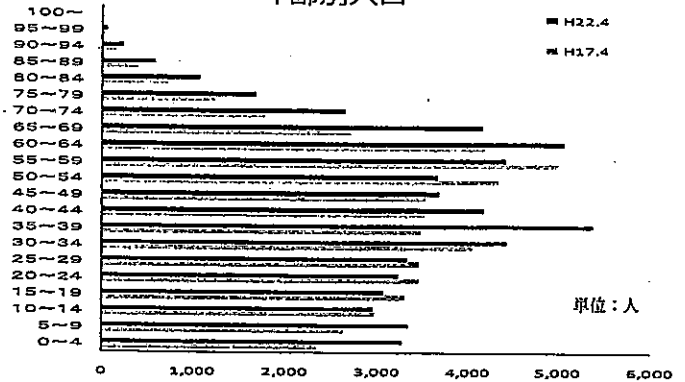
「しろい」って、どんなところ？

白井市は千葉県北部に位置し、都心から約30キロの距離にあります。緑豊かで、梨の産地として知られ、近年は千葉ニュータウンをはじめとする住宅開発が進み、都市と自然の調和がとれた生活都市として、さらなる発展が期待されています。



単位：歳

年齢別人口



千葉ニュータウン入居開始の昭和54年から人口が急増しました。当時入居された世代は団塊の世代であったことなどから、この5年間で60歳以上が急増し、さらに今後10年程度で急速な高齢化が進むと予測されています。その反面、平成14年に街開きをした区画整理事業などにより、若い世代が白井市へ転入し、子育て世代が急増しています。



住宅街にオオハクチョウ

全国的にも珍しい、住宅街の調整池にオオハクチョウが飛来するまちはです。初飛来の当時は日本最南端の飛来地と言われていました。



味が自慢のしろい梨

白井市の特産品はなんといっても梨。また、市内の農家では家族経営協定を結ぶ農家が多く、女性の地位が確保されています。

白井市の平和映画上映会

監督：山田洋次 主演：吉永小百合

かあ 母べえ

あらすじ：舞台は昭和15年の東京。戦争反対を唱える父が捕らわれの身となり、残された母と幼い2人の娘が、周囲の優しさに支えられ、さまざまな困難にあいながらも明るく懸命に生きる姿を描いた作品です。

平成22年8月15日(日)

場所 白井市文化センター大ホール

対象 一般 800人(先着順)

入場料 無料

問 白井市企画政策課男女共同参画室 Tel. 047(492)1111 内線 3355

午後1時30分～(開場 午後1時)

佐倉市の平和事業

1 地域の紹介

佐倉市は、北総台地の中央部に位置し、都心から 40 キロメートルの距離にあります。成田国際空港へは東へ 15 キロメートル、千葉市へは南西へ 20 キロメートル、市北部には印旛沼が広がります。面積は、103.59 平方キロメートルです。印旛沼周辺、佐倉城址周辺、また東部、南部の農村地帯などには豊かな自然が残っています。

市の人口は、平成 22 年 6 月末現在で、176,037 人となっています。街の特色としては、京成線沿線の各駅及びJR佐倉駅の鉄道駅周辺地区を中心に、商業集積が進んでいます。特に、市の西側の地区では、大規模団地や大型店舗の出店等により、都市近郊の住宅地として発展しています。また、市の北部や南部地域では、米作を中心とした農業が盛んに行われています。

市内には国指定の文化財である、旧藩主堀田家の住まい「旧堀田邸」や、江戸時代に西洋医学を広めた「佐倉順天堂」の建物が残り、記念館として保存しています。この他にも、武家屋敷や中世の城跡がいくつも残され保存につとめています。市の施設以外にも、国立歴史民俗博物館や川村記念美術館等があります。

佐倉は、幕末に日米修好通商条約の締結に尽力し、当地での蘭学発展の礎を築いた堀田正睦公、順天堂の開祖・佐藤泰然、明治時代の啓蒙思想家・西村茂樹、津田塾大学の創始者・津田梅子など多くの人材を輩出し、今日まで歴史・自然・文化に恵まれたまちとして発展してきました。

2 平和事業の概要

(1) 佐倉市主催事業

①佐倉平和使節団 期日:7月30日(金)～8月1日(日)

内容:市内中学生代表 12 人(私立中学生 1 人含む)を被爆地に派遣する体験型の平和学習活動です。原爆資料館の見学、被爆体験者の講話を聞くほか、班別行動を通じて平和の尊さ、戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを自校の生徒に伝えていただきます。

②佐倉市平和式典 期日:8月15日(日)

内容:戦没者の追悼及び恒久平和への願いを込めて、正午の時報を合図に黙祷をし、「佐倉平和の鐘」を鳴らします。市長による「平和への誓い」の後、佐倉平和使節団が被爆地で学習したことを報告します。広島・長崎の原爆被災写真等も展示します。

③小学校平和祈念講話と映画会 期日:10月～11月

内容:小学校に市内在住の戦争体験者を招き、戦時中の体験を児童に話していただきます。併せて児童対象の平和啓発映画(アニメーション)を上映します。

④ミニ・パネル展 長崎市の協力による原爆関係写真及び平和使節団の写真展示 5月19日～5月30日 佐倉市立中央公民館エントランス

⑤ミニ・パネル展 広島市の協力による原爆関係写真及び平和使節団の写真展示

8月10日～8月17日 佐倉市立志津公民館

(2) 平和活動を行う市民団体との共催事業(佐倉市と共催)

○平和を次の世代に 市民のつどい 期日:7月29日(木)～31日(土)

内容:原爆写真や戦争資料の展示を行います。

主催:「平和を次の世代に」実行委員会

○佐倉平和のつどい「伝えたい満州での悲劇・戦争と非戦への導き」

期日:8月20日(金)～22日(日)

内容:原爆模型、原爆の絵等戦争資料展示、戦争体験者の講話、コンサートなど
を行います。

主催:佐倉平和のつどい実行委員会

★ 佐倉市平和行政の基本に関する条例 ★

(目的)

第一条 この条例は、佐倉市の平和行政の基本原則を定め、もって市民の平和で安全な生活の維持向上に資することを目的とする。

(基本原則)

第二条 佐倉市は、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に努めるとともに、市民が平和で安全な環境のもとに、人間としての基本的な権利と豊かな生活を維持できるよう、平和都市を宣言(別記)し、この精神に基づき平和行政を推進する。

(平和事業)

第三条 佐倉市は、平和行政を推進するために次の事業を実施する。

- 一 日本国憲法に規定する平和の意義の普及
- 二 平和に関する情報・資料の収集、保存及び提供
- 三 国内及び外国の諸都市との平和に関する交流
- 四 講演会、演奏会、展示等平和に関する事業
- 五 その他この条例の趣旨に基づき市長が必要と認める事業

(委任)

第四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則 この条例は、平成七年八月十五日から施行する。

★ 平和都市宣言 ★

～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。

佐倉市民は、悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後 50 年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

佐倉市

県内平和市長会議加盟市長・町長からのメッセージ（敬称略）

我孫子市長 星野順一郎

我孫子市は、昨年10月に平和市長会議に加盟しました。平和の実現のためには、国の外交によるだけでなく、地域から平和への取り組みを市民と共に進めていくことが大切と考えています。本市では、平成20年に平和事業を継続的に推進するため、「我孫子市平和事業推進条例」を制定し、市民の協力と参加のもと、平和事業を推進しています。今後も、多くの市民とともに平和について考えていきます。

いすみ市長 太田洋

「平和を願う市民の集い 2010」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。世界で唯一の被爆国である日本が、世界平和と核兵器のない世界の実現に向けて先導的な役割を果たすべきであります。いすみ市も、先進的な自治体と共に努力したいと思えます。結びに、本日の集いの成功と平和な世界が早く実現されますことを願いメッセージと致します。

一宮町長 玉川孫一郎

集会にお集まりの皆様へ

住民の安全、安心を守ることは私たち市町村の最大の責務です。非戦闘員である市民を無差別に殺傷する核兵器は絶対に赦すことはできません。国境を越えて世界の都市が連帯し核兵器廃絶の道を切り開きましょう。

本日の「平和を願う市民の集い 2010」が成功し、千葉県における平和市長会議の運動が大きく広がることを期待いたしまして、私の挨拶といたします。

大網白里町長 堀内慶三

「平和を願う市民の集い2010—地域から平和を創る」が開催されるにあたり、核兵器廃絶と恒久平和のために日頃より活動されている皆様に対し敬意を表します。

世界的に核兵器廃絶の機運が高まっておりますが、未だに世界には多くの核兵器が存在しており、各地の紛争もなくなりません。

本町も戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう不断の努力を続けていく所存であります。

この集いのご成功と皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げます。

御宿町長 石田義廣

核兵器が再び人類の上に使用されないことがないよう、核兵器廃絶に向けて「平和市長会議」の運動がさらに大きく広がることを祈念します。

柏市長 秋山浩保

「平和を願う市民の集い」の御盛會を心よりお喜び申し上げます。

柏市は、昭和60年3月20日に平和都市を宣言し、核兵器の廃絶、非核三原則の堅持、軍備の縮小を訴え、世界の恒久平和を希求しております。

核兵器のない平和な世界の実現は、誰もが持つ共通の願いです。そして、その実現のためには、それぞれが立場や環境を超えて、ともに手を携え協力していかなければなりません。

「平和を願う市民の集い」が、私たちの願いに向けての大きな一歩となることを祈念しております。

鎌ヶ谷市長 清水聖士

本市では、昭和59年に世界の恒久平和を実現するために、非核平和都市を宣言し、平成22年には平和市長会議へ加盟しました。戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを若い世代に語り継ぐとともに、平和を守りぬくことの大切さ、生命の尊さを訴えていきたいと考えております。

「平和を願う市民の集い」に際し、平和の輪が更に大きく広がることを期待するとともに、皆様のご活躍を祈念いたします。

富里市長 相川堅治

世界恒久平和と核兵器廃絶の一日も早い実現を、5万1千人の富里市民とともに心から願っています。

野田市長 根本崇

核兵器の廃絶、恒久平和の実現については、いつの時代においても全人類共通の課題であり、願いであると考えております。

現在、世界的な核兵器廃絶への機運が高まり、平和市長会議への加盟都市数も増えてきておりますが、これからも多くの都市が平和市長会議に加盟することにより、核兵器廃絶・恒久平和の実現に向けた世界の潮流を創りだしていく原動力となることを願っております。

松戸市長 本郷谷健次

「平和を願う市民の集い2010 ～地域から平和を創る～」のご開催、まことにおめでとうございます。

本市におきましては、世界の都市が国境を超え、各都市と連帯して核兵器の廃絶を呼びかける貴会の趣旨に賛同し、昨年4月より加入しております。

核兵器廃絶を求める声は、世界唯一の被爆国である日本をはじめ、世界中で広まっております。

私も、平和を愛し、平和への努力を続ける一人として、松戸市「世界平和都市宣言」の精神のもと、平和活動事業に尽力して参りたいと思います。

八街市長 長谷川健一

平和を願う市民の集いに寄せて

「平和を願う市民の集い 2010ー地域から平和を創る」のご開催にあたり、お祝いを申し上げます。

核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現は、全人類共通の願いです。

我々は戦争によって失われたかけがえのない命の大切さ、尊さを胸に刻み続け、後世に伝えて行かなければいけないと考えます。

人類史上最初の被爆国民として世界に核兵器廃絶を訴え、皆様とともに核兵器のない世界の実現に向け力を尽くしていきましょう。

八千代市長 豊田俊郎

八千代市は、昭和 62 年に生命の尊厳を深く認識し、将来にわたって、非核三原則が堅持されるとともに、平和を脅かす核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成のため努力することを決意し、

平和都市を宣言し、平成 22 年には平和市長会議へ加盟しました。

「平和を願う市民の集い 2010ー地域から平和を創る」の開催を契機に、皆様の活動が世界の恒久平和実現に一層貢献されますことを祈念いたします。

横芝光町長 斎藤隆

世界の恒久平和と人類の安全は、世界共通の強い願いですが、未だ、戦争や紛争が絶えず、日々多くの命が失われていることに、心を痛めています。

我が国は、唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさを世界にアピールし、一日でも早く核兵器が地球上から廃絶されることを祈っています。

ここにお集まりの皆さんの平和への願いが大きな輪になって、核のない世界が早期に実現するようご期待申し上げます。

四街道市長 佐渡斉

本日、「平和を願う市民の集い 2010」が多数の皆様のご協力により開催されますことを心からお喜び申し上げます。核兵器廃絶に向けた国際潮流が形成されつつある中、このような平和行事が行われるのは大変意味があることであり、“地域から平和を創る”という視点の下、核兵器なき世界の実現に向け、様々な可能性を確認できたことと思います。核兵器廃絶への道のりは遠く険しいものですが、皆様の強い願いが、地域から平和を作り出すための新たな一歩となることをご期待申し上げます。